

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

赤瀬川 俳句は、二十年程前、家内が同好会に入会し、仲間ができたことに影響されて始めました。一年後、新聞に投句、入選して病みつきになりました。元々、面白味のある俳句が好きで、気が付けばユーモアに属する句を作っていました。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

赤瀬川 花鳥諷詠にとらわれず、目の前の面白い出来事を五七五にできることです。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

赤瀬川 ダイレクトではなく、滲み出ているユーモアだと思います。作ってみたら滑稽俳句だったというような感じでしょうか。

編集部 滑稽俳句を続けていて良かった事は？

赤瀬川 伝統的な結社では認められそうにない、投句さえ出来そうもない句が作品として認められ、評価されるところです。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

赤瀬川 真面目にジョーダンと向き合うことではないでしょうか。五七五を面白がることですね。そして世の名句をたくさん読み、頭の中をやわらかくして、滑稽と思われるものを探し、自分の句に生かす研究を怠らないことです。

**【代表句】**

春の夢ピテカントロプスエレクトゥス  
Tショットはスライスばかり草いきれ  
逃水や脳の写真に異常あり  
寒牡丹藁はすぐねえ方がええ  
胃カメラはまつぴらご免三鬼の忌